



風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.4

令和2年5月22日発行



「風の子米」の田植え

5月14日（木）、澄み切った青空の下、「風の子米」の田植えをしました。昨年同様、3人の田んぼの先生から御協力いただき、プールの上にある田んぼをお借りして実施しました。

はだしになって田んぼに入ると、ひざのあたりまで埋まる所もあり、初体験の1年生は足を取られそうになりながらも、その内に慣れて上手になってきました。上級生たちは予定されたところまで進むと、まだ植えられてない所に戻ってきます。約30分で田んぼの4分の1程に植えました。残りは、田植え機での作業を見学しました。体験した手植えと比べて速くきれいに植えるので、農業の進歩を感じました。

今後の管理はお任せするので、学校にとっては本当に楽なのですが、9月下旬に稲刈りを予定しています。収穫した「風の子米」は、収穫祭や笹ずしで利用したり、販売したりして有効に活用していきます。自ら手がけた米が自分たちの体験学習の素材として更に広がっていくことから、米のありがたさや米が秘めた魅力、それを育む大地や自然の力を実感させたいと思います。

第1回 風の子学校運営協議会



熟議の様子。テーブルには3・4年生が掘って煮た正願寺のたけのこも添えられました。



5月11日（月）、第1回風の子学校運営協議会を実施しました。地域とともにある学校づくりを推進するため、保護者・地域から選出された委員から学校運営に関して承認をいただき、意見をうかがう会です。

後半には、低・中・高学年に分かれて、地域学習の計画について話し合い、地域素材を紹介、助言いただき熟議を行いました。委員の皆様には、地域と学校をつなぐ重要な役割を担っていただきます。

令和2年度 風の子学校運営協議会委員

1			
2			
3			
4	委員名簿は公開しません		
5			
6			
7			
8			
9			

正願寺見学・たけのこ掘り（3・4年総合学習）



3・4年生は、5月8日（金）に新戸の正願寺へ庭園見学とたけのこ掘りに出掛けました。この数年、春の恒例になっているようで、御住職は「木浦小の子が来ると連絡があると、たけのこの時期だなと思う。」とおっしゃっていました。

美しく整備された庭園を巡った後、たけのこを掘らせてもらいました。1人1本の予定が3人で計8本。煮物やたけのこはんにしていただき、正に木浦の魅力をたっぷり味わいました。

本来ならば、5月23日は「木浦わくわく運動会」で地域全体が盛り上がる予定でしたが、中止になりとても残念です。当校は小規模校の強みで、教室が「密」になることもなく、平穏な学校生活を送っています。しかし、子供たちは心のどこかに不安を抱えているかもしれません。私たちは寄り添いながら、目は掛けるが手は掛け過ぎず、子供たちの成長を支えていこうと思います。